

水稻の生育情報

「コシヒカリ」の幼穂形成が始まりました。間断かん水を行きましょう。

概況 (6月30日 水稻定点ほ場調査から)

今年度の気温は、平年と比較して、4月下旬は高く、5月上旬以降は平年並みかやや低く、6月下旬は非常に高く推移しています。また日照時間は、6月下旬を除き、平年並みに推移しています(図)。

水稻の生育は、平年と比較して、草丈はやや短い～やや長い、茎数は少ない～多い、葉色は平年並みに濃くなっています。なお、出穂期は4月下旬移植が遅くなり、5月上旬移植が早くなると予測されます(表)。

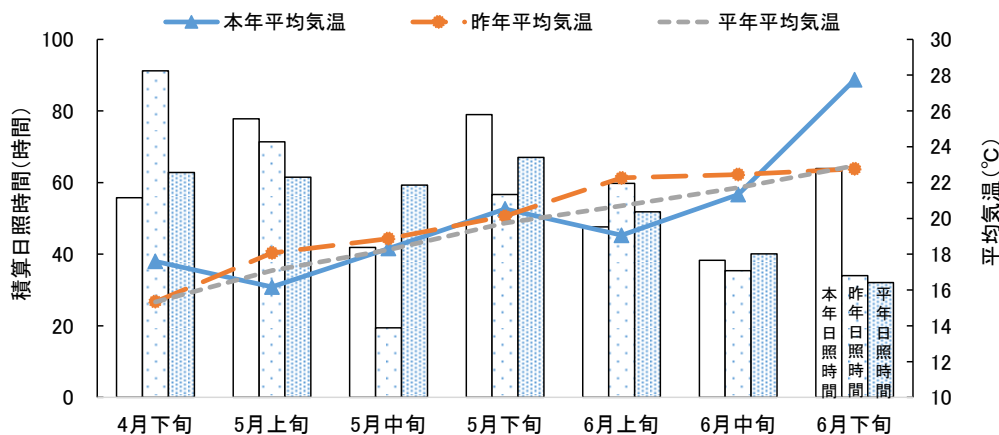


図 4月下旬から6月下旬の旬別平均気温と日照時間(古河アメダス) (注) 平年値は1991年～2020年の平均値

表 定点ほ場の生育調査結果 (令和4年6月30日現在)

品種	調査地点	田植日	植付本数	栽植密度	草丈※1	茎数※1		葉色※1	幼穂長	出穂期予測
			本/株	株/m ²	cm	本/株	本/m ²	葉色板		
コシヒカリ	坂東市	4/26	4.6	15.2	71.1 (75.9)	32	538 (594)	4.0 (3.7)	1.8	7/23 (7/19)
	境町	4/29	4.3	15.2	75.8 (73.8)	41	626 (558)	4.1 (3.5)	0.9	7/25 (7/23)
	五霞町	5/5	6.9	14.5	67.4 (66.5)	34	492 (515)	3.6 (3.4)	0.8	7/26 (7/29)
	古河市	5/8	4.7	17.5	63.8 (65.1)	23	400 (497)	3.7 (3.6)	1.8	7/23 (7/26)

※1 坂東市はほ場内で部分的に生育が悪い場所があり、調査は1反復。()内は過去5年間の平均値。

※2 出穂期は、気温が平年並みに推移したときの予測値。

今後の栽培管理

連休中までに移植したほ場では、幼穂形成が始まっています。

中干しを終了し、3～4日間隔で入水と落水を繰り返す「間断かん水」を実施しましょう。

病虫害防除(斑点カメムシ対策)

水田へのカメムシ飛来を防ぐために、畦畔除草を行きましょう。なお、除草後の本田への飛び込みを避けるために水稻の出穂15日前頃までには除草を行きましょう。